

故沢野伸浩教授年譜・業績目録

年 譜

昭和 35 年 7 月 1 日	群馬県北群馬郡小野上村に生まれる
昭和 51 年 3 月	群馬県北群馬郡小野上村立小野上中学校卒業
昭和 51 年 4 月	群馬県立渋川高等学校入学
昭和 54 年 3 月	群馬県立渋川高等学校卒業
昭和 59 年 4 月	埼玉県立熊谷工業高等学校英語科教諭
昭和 63 年 3 月	大学院進学のため退職
昭和 63 年 4 月	茨城大学大学院教育学研究科修士課程入学
平成 2 年 3 月	茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了
平成 2 年 4 月	株式会社環境公害研究センター入社
平成 2 年 9 月	株式会社環境公害研究センター 電算室室長
平成 4 年 4 月	北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科入学
平成 4 年 8 月	環境庁環境影響評価研修終了
平成 5 年 3 月	北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科中退
平成 5 年 3 月	北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター共同研究者
平成 6 年 4 月	星稜女子短期大学講師（平成 12 年 3 月まで）
平成 12 年 4 月	星稜女子短期大学准教授（平成 25 年 3 月まで）
平成 15 年 4 月	星稜女子短期大学図書館長（平成 17 年 3 月まで）
平成 18 年 2 月	立正大学大学院地球環境科学研究科博士（理学）
平成 21 年 4 月	星稜女子短期大学教務委員長（平成 23 年 3 月まで）
平成 21 年 4 月	星稜女子短期大学図書館長（平成 23 年 3 月まで）
平成 25 年 4 月	金沢星稜大学女子短期大学部教授（平成 27 年 3 月まで）

著 書

ネットワークコンピューティングリテラシー	北國新聞社出版部	平成 9 年 1 月
(翻訳) ウォーターエンバアイランメント フェデレーション下水処理のためのナチュ ラルシステム	中技術士事務所	平成 10 年 5 月
重油汚染・明日のために「ナホトカ」は日本 を変えられるか (第 3 章 5「事故から 1 年半、今何が問題な のか」執筆)	海洋工学研究所出版部	平成 10 年 12 月
Q&A もっと知りたい環境ホルモンとダイオ キシン (3 章「影響とリスク」執筆)	ぎょうせい	平成 11 年 7 月
(翻訳) ダン・ローン, ジョナサン・ウィ ルズ, リックス・タイナー サハリン石油—正しい対応のために	Friend of the Earth Japan	平成 12 年 11 月
アジア環境白書 2003/04 (環日本海地域: 環境協力型地域構築への現 状と課題) 3. 日本海における海洋汚染 執 筆)	東洋経済新報社	平成 15 年 10 月
Heavy oil Spilled from Russian Tanker "Nakhdoka" in 1997: Toward ecoresponsibility, Earth Sense (What kind of shorelines is the most dangerous for oiling? 執筆)	金沢大学	平成 15 年 10 月
地理情報科学事典 (18-4, 沿岸域脆弱性マップへ適応とその利 用方法 執筆)	朝倉書店	平成 16 年 4 月
The State of the Environment in Asia 2005/2006 (Part II, Chapter 1, 執筆)		平成 17 年 4 月
Asian-Pacific Coasts and Their Management Oil Spill: Impact and Response	Springer	平成 19 年 12 月
本当に役に立つ「汚染地図」	集英社新書	平成 25 年 12 月

論 文

河北潟周辺に散乱・堆積する廃棄物の現状と総量の推計	星稜論苑 第 19 号	平成 6 年 12 月
廃棄物の堆積特性に関する数値解析	星稜論苑 第 20 号	平成 7 年 7 月
STARnet の概要	星稜論苑 第 21 号	平成 7 年 12 月
米国におけるナチュラルシステムの現状 ーサンパスカル水生生物処理施設にみるホテイアオイを用いた下水道処理ー	環境情報科学 (社団法人環境情報科学センター)	平成 8 年 5 月
ー環境予測を行う際の基礎データの扱いに関する一考察ー 中海本庄工区干拓に係わる水質予測と河北潟生活排水計画に共通する問題点	telos (金沢経済大学人間科学研究会)	平成 9 年 3 月
三国町に見る漂着重油回収作業の現状	日本海重油流出事故に伴う汚染環境の緊急調査と復元に関する研究 (金沢大学)	平成 9 年 4 月
岸向き漂砂による漂着重油の埋没 ー三国町浜地海岸に見る事例ー	同上	平成 9 年 4 月
重油漂着現場に見る回収作業の現場と問題点	環境技術 (環境技術学会)	平成 9 年 7 月
漂着重油の回収作業とその後の状況	資源環境対策 (環境コミュニケーションズ)	平成 9 年 8 月
漂砂による漂着重油の埋没とその後の回収作業の課題	月刊海洋 (海洋出版株式会社)	平成 9 年 10 月
重油漂着状況評価と沿岸域管理に関する調査 ー象徴的生物の CVM 調査に向けた種の選定に関する課題	1999 年日本海経済白書 (富山大学環日本海地域研究センター)	平成 11 年 3 月
重油漂着状況評価と沿岸域管理に関する調査 ー加賀市片野～塩屋海岸における重油漂着とそれに伴う環境影響ー	同上	平成 11 年 3 月

ナホトカ号油流出とそれに伴う環境影響	Navigation (日本航海学会誌)	平成 11 年 9 月
影響評価書評釈：神戸市『空港島埋め立て事業に係る環境影響評価書』（神戸空港埋立評価書） －水質，生物及び意見取り扱い分野－ （「水質」の項を分担執筆）	環境技術 (環境技術学会)	平成 12 年 4 月
ESI Maps on Web-GIS: Preparations for Oil Spill	Asia GIS	平成 13 年 6 月
油流出と「中和剤」	水 (月刊水発行所)	平成 13 年 7 月
大規模油流出による沿岸油汚染と地形要素 －ナホトカ号重油流出事故から 3 年後の状況－	環境情報科学 (社団法人環境情報科学センター)	平成 13 年 8 月
Pursuing Changes on Sandy Beach Environment by using Geo-informatics: Case of akhodka Oil Spill Incident	金沢大学 21 世紀 COE プログラム (金沢大学)	平成 15 年 3 月
重油回収支援システムの運用に関する研究	学術情報ネットワーク 成果報告書 (学術情報センター)	平成 15 年 3 月
油防除体制 －日本と韓国の体制比較を中心に－	北経調研究 (北陸経済調査会)	平成 15 年 3 月
「空間依存性」を活用した情報検索 －GIS を用いた「神社祭神データベースシステム」構築から	短期大学図書館研究	平成 16 年 6 月
(博士論文) ナホトカ号事故後の海岸線長期観察による油残留の特性と沿岸環境脆弱性指標への反映に関する研究	立正大学大学院地球環境学研究科論文博士学位請求論文	平成 18 年 2 月
ナホトカ号事故後の海岸線長期観察による油残留特性の解析	環境科学論文集 20 (社団法人環境科学情報センター)	平成 18 年 11 月
分散剤使用における漁業者と行政のコンフリクトに関する研究	社会技術研究論文集 (社会技術研究会、科学技術振興機構)	平成 18 年 12 月

故沢野伸浩教授年譜・業績目録

Geo-Spatial Approach to Herbicide Spraying during Vietnam War	Proceeding of DIOXIN 2007	平成 19 年 9 月
漂流油残留年数と海岸の礫形の関連性 ーナホトカ号事故事例よりー	環境科学論文集	平成 19 年 11 月
ナホトカ号漂着油の残留年数と礫浜の礫形・地形の関連性	日本の海洋ストラテジー論文集	平成 20 年 3 月
Kringing とデジタル標高モデルによる放射性物質の分布と予測に関する考察	環境アセスメント学会誌	平成 23 年 8 月
災害時におけるクラウド型 GIS による状況認識の統一手法と訓練への適用	日本写真測量学会学術講演会発表論文集	平成 26 年 5 月

受 賞

石川 TOYP 大賞	平成 13 年 6 月
アジア太平洋海洋開発会議学術貢献賞	平成 15 年 12 月